



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部 部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	96,399	2.9	9,577	△12.4	9,663	△11.8	5,760	△9.9
26年3月期第3四半期	93,638	10.6	10,927	△5.9	10,954	△6.0	6,396	△5.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,777百万円 (△10.0%) 26年3月期第3四半期 6,422百万円 (△4.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	180.91	—
26年3月期第3四半期	200.95	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	70,004	35,176	50.2	1,104.67
26年3月期	59,296	31,532	53.2	990.22

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 35,176百万円 26年3月期 31,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	47.00	67.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	1.2	10,800	△20.9	11,000	△19.9	6,100	△23.0	191.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	37,800,000 株	26年3月期	37,800,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	5,956,024 株	26年3月期	5,956,024 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	31,843,976 株	26年3月期3Q	31,830,674 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第3四半期連結累計期間】	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済対策および金融政策によって企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気も緩やかな回復基調に向かうなど、徐々に明るさを増しております。しかしながら、円安等による原材料価格の高騰や、それらに伴う生活必需品の価格上昇など、個人消費は厳しい環境が続きました。

衣料品小売業界におきましては、都市部を中心に訪日外国人客による売上増加などが見られたものの、全国各地での局的豪雨や相次ぐ台風の上陸などの厳しい天候条件に加え、消費税率引上げ後の節約志向や物価上昇に伴い慎重な購買行動がみられるなど、先行きの不透明感が継続しております。

このような状況の下、株式会社ユナイテッドアローズにおきましては、平成27年3月期の単年度経営スローガンとして「創造的商人魂」を掲げております。お客様にワクワク・ドキドキしていただくことを第一に考え、社員全員が創意工夫し、当社にしかできない付加価値を創造し続けることでブランド価値を高めることを目指します。

このスローガンの達成に向け、「商品・販売・宣伝部門連携サイクルの徹底強化」を重点取組課題に設定し、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

商品部門では、競合他社に対して競争力のある商品開発を行うことを目指しました。当第3四半期累計期間においては、きれいなテイストやスポーツテイストのトレンドに対応することでカットソー、スニーカー、スカートなどのヒット商品を創出いたしました。また価値ある物を購入したいというお客様の消費意識に沿った調達により、海外仕入品を中心とした高額アウターの売上増加につなげました。

宣伝部門では、一人でも多くのお客様にご来店いただけるような販売促進活動を推進いたしました。ツイッターやフェイスブックを通じた商品やイベントのご案内に加え、写真共有サービスのインスタグラムを使ったスタイリング画像の紹介など、各種SNSツールを使った情報発信を行ないました。ユナイテッドアローズ事業では販売促進キャンペーン「UNITED 世界を変える ARROWS」を実施いたしました。店頭での接客販売に加え、特設サイトでは各界の著名人への接客風景を日替わりで動画配信することで、話題喚起につなげました。

販売部門では、情熱的な接客とスタイリング提案でお客様にワクワク・ドキドキを提供することを目指しました。自社運営のネット通販サイト「ユナイテッドアローズオンラインストア」から実店舗への商品取り寄せサービスの対応店舗を拡大し、オンライン(ネット通販)からオフライン(実店舗)へのご案内を積極的に実施することで、実店舗での接客サービス機会の創出につなげました。また同オンラインストアにおいては、お客様が購入検討されている商品と、ご自身が同オンラインストアで過去に購入した商品を、ヴァーチャルにサイズ比較できるサービスを開始し、ネット通販利用時の利便性向上に努めました。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業:4店舗の出店、グリーンレーベルリラクシング事業:5店舗の出店、3店舗の退店、クロムハーツ事業:1店舗の出店、スモールビジネスユニット:6店舗の出店、1店舗の退店、アウトレット:2店舗の出店を実施し、当第3四半期末の小売店舗数は224店舗、アウトレットを含む総店舗数は245店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、小売の伸長等により増収となりましたが、アスペジ等の新規ブランドにかかる宣伝販促費や店舗人件費の増等により減益となりました。出退店ではフェリージ1店舗の出店を実施し、当第3四半期末の直営店舗数は18店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月:1月)は、新規出店に伴う増収のほか、展開するマーケットに適した価格戦略の見直しを実施したこと等に伴い、既存店およびネット通販が好調に推移し、増収増益となりました。出退店では7店舗の出店、1店舗の退店を実施し、当第3四半期末の店舗数は71店舗となりました。

連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)は、直営店の「ビューティ&ユースユナイテッドアローズ 台北店」を5月にオープンいたしました。10月にオープン1周年を迎えた「ユナイテッドアローズ 台北店」では、これまで「ユナイテッドアローズ 原宿本店 メンズ館」でしか展開していなかったコンセプトコーナー「ユナイテッドアローズ&サンズ」の展開を開始し、ファッショントレンドに敏感な層への訴求力を高めました。なお、当第3四半期末の店舗数は2店舗となります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、新店出店に伴う増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比2.9%増の96,399百万円となりました。売上総利益率は円安の影響や値引き販売の増等に伴い、前年同期から0.6ポイント減の53.9%となりましたが、売上高の伸長に伴い売上総利益額につきましては前年同期比1.8%増の52,003百万円となりました。販売費及び一般管理費につきましては、グループ各社での新規出店等による人件費の増、在庫増に伴う物流関連コストの増や商品系基幹システム刷新に伴うITコストの増等に伴い、前年同期比5.7%増の42,425百万円となりました。以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は9,577百万円(前年同期比12.4%減)、経常利益は9,663百万円(前年同期比11.8%減)、四半期純利益は5,760百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して9,995百万円(25.8%)増加の48,786百万円となりました。これは、商品が7,852百万円、未収入金が2,528百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して713百万円(3.5%)増加の21,217百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が358百万円、有形固定資産のその他が56百万円、差入保証金が273百万円、投資その他の資産のその他が85百万円それぞれ増加した一方、償却などにより無形固定資産が66百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して6,899百万円(27.5%)増加の32,020百万円となりました。これは、短期借入金が8,150百万円、支払手形及び買掛金が1,740百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が681百万円、未払法人税が3,168百万円、賞与引当金が1,279百万円、役員退職慰労引当金が309百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して164百万円(6.2%)増加の2,807百万円となりました。これは、資産除去債務が163百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,644百万円(11.6%)増加の35,176百万円となりました。これは、利益剰余金が、四半期純利益により5,760百万円増加した一方、配当金の支払により2,061百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月8日発表の予想を修正いたしました。詳細は、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,633	5,979
受取手形及び売掛金	245	147
商品	20,026	27,879
貯蔵品	345	427
未収入金	9,904	12,432
その他	2,639	1,922
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	38,791	48,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,620	7,979
その他(純額)	1,773	1,830
有形固定資産合計	9,394	9,810
無形固定資産		
その他	1,746	1,680
無形固定資産合計	1,746	1,680
投資その他の資産		
差入保証金	7,422	7,696
その他	1,967	2,053
貸倒引当金	△26	△21
投資その他の資産合計	9,363	9,727
固定資産合計	20,504	21,217
資産合計	59,296	70,004
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,155	10,896
短期借入金	4,400	12,550
1年内返済予定の長期借入金	681	-
未払法人税等	3,421	253
賞与引当金	1,970	691
役員賞与引当金	103	-
役員退職慰労引当金	309	-
その他	5,077	7,629
流動負債合計	25,120	32,020
固定負債		
資産除去債務	2,631	2,795
その他	11	11
固定負債合計	2,642	2,807
負債合計	27,763	34,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	30,517	34,144
自己株式	△6,119	△6,119
株主資本合計	31,523	35,150

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	17
繰延ヘッジ損益	△1	4
為替換算調整勘定	3	4
その他の包括利益累計額合計	9	26
純資産合計	31,532	35,176
負債純資産合計	59,296	70,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	93,638	96,399
売上原価	42,566	44,395
売上総利益	51,071	52,003
販売費及び一般管理費	40,144	42,425
営業利益	10,927	9,577
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	8
為替差益	—	3
仕入割引	37	33
受取賃貸料	27	31
その他	83	107
営業外収益合計	150	185
営業外費用		
支払利息	44	25
支払手数料	0	—
為替差損	25	—
賃貸費用	17	26
その他	35	46
営業外費用合計	123	98
経常利益	10,954	9,663
特別利益		
固定資産売却益	1	19
特別利益合計	1	19
特別損失		
固定資産除却損	44	74
減損損失	225	307
その他	22	8
特別損失合計	292	390
税金等調整前四半期純利益	10,663	9,292
法人税、住民税及び事業税	3,719	2,704
法人税等調整額	547	827
法人税等合計	4,267	3,531
少数株主損益調整前四半期純利益	6,396	5,760
四半期純利益	6,396	5,760

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,396	5,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	9
繰延ヘッジ損益	△2	5
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	25	17
四半期包括利益	6,422	5,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,422	5,777
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,663	9,292
減価償却費	1,264	1,333
無形固定資産償却費	138	127
長期前払費用償却額	95	100
減損損失	225	307
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,357	△1,279
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△113	△103
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△6
受取利息及び受取配当金	△1	△8
支払利息	44	25
売上債権の増減額(△は増加)	△2,831	△2,457
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,636	△7,934
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△405	△46
仕入債務の増減額(△は減少)	4,129	4,036
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△433	683
その他の固定負債の増減額(△は減少)	8	0
その他	38	△37
小計	4,823	4,034
利息及び配当金の受取額	1	8
利息の支払額	△44	△25
法人税等の支払額	△4,479	△5,797
役員退職慰労金の支払額	-	△309
営業活動によるキャッシュ・フロー	301	△2,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9	△9
投資有価証券の取得による支出	△39	-
有形固定資産の取得による支出	△1,990	△2,177
資産除去債務の履行による支出	△14	△15
有形固定資産の売却による収入	2	21
無形固定資産の取得による支出	△193	△122
長期前払費用の取得による支出	△364	△408
差入保証金の差入による支出	△496	△356
差入保証金の回収による収入	206	82
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,898	△2,982
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,100	8,150
長期借入金の返済による支出	△2,342	△681
自己株式の処分による収入	62	-
配当金の支払額	△1,775	△2,061
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,044	5,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△553	336
現金及び現金同等物の期首残高	6,142	5,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,588	5,766

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。